

## 第3期宮前区区民会議 第4回 活力づくり部会 摘録

日 時 平成23年1月21(金) 18:00~20:00

場 所 宮前区役所4階会議室

参加者 委 員 山下委員長、直本副委員長、佐藤部会長、田邊委員、谷山委員、  
豊島委員、手塚委員、藤田委員  
事務局 岩佐企画課長、白石職員、鈴木職員  
阿部(コンサルタント)

### 1 前回のふりかえり

※ 前回のふりかえりとして、各委員が資料1の内容を確認。

### 2 専門部会の流れ(スケジュールイメージ)

※ 事務局より資料2を説明。

### 3 コミュニティづくりにつながる仕掛けづくり

#### 1) 部会のメインテーマの決定

藤田 坂道しかないと思う。

**直本** 階段、神社仏閣、古墳、河川敷などあるが、それだけではメインテーマとして少し弱い気がする。メインテーマは坂道ではないか。ただ坂道と併せて、公園、神社仏閣、古墳などを組み込むのはいいと思う。

**佐藤** 坂道を軸として、それに+αというテーマとしていくことでよいか。

→ 坂道をメインテーマとし、その他様々な資源等を組み合わせることです承された。

#### 2) 部会で検討する内容の確認

※ 事務局より資料4(議論のベース、住民意識の変え方)を説明。

#### 3) 坂道を活用したアイデア

※ 事務局より資料4(これまでの意見、坂道を活用したアイデア)を説明。

**佐藤** 坂道はどうしても健康づくりに目が向いてしまう。しかし、健康づくりだけでは行政が考えるようなテーマになってしまうので、区民会議の特徴を活かしていったらと思う。

谷山 宮前区の商店街連合会に参加している商店街は区内の1/3程度。商店街がひとつになっていくためには、坂道を活かしたイベントなどと絡めて、何かできるといい。業界の起爆剤になってほしい。

地蔵は人間の手に近い救いの手をもつ仏像であり、それと坂道がつながるとよい。何のための地蔵なのか、御利益など情報発信ができるとよい。宮前区ならではの地蔵があると思うし、お寺はいろんな仏像もある。

川崎市の他の区は、坂に名前がついているところが多い。宮前区は何があるかと確認しても、あんまりそういう名前を聞かない。昔名前がついていても、今はないことがあ

### 第3期宮前区区民会議 第4回 活力づくり部会 摘録

るので、そういうところをもっと折り起こせるとよい。既存のマップも100%ではないので、宮前区の区民ならではの探求ができるのではないかな。

商店街でホームページを立ち上げているところがあるが、商店街自体がそれを活用していない。鷺沼商店会はちゃんとマップをつくって、クーポン券を発行している。全部の商店街でやっているかというところではない。何かポイント制をつくるにしても、有馬の商店街に行ってもなかったと言われると困る。宮前区全体の商店街が活動するということにしていけないといい結果は出ない。

**山下** 目黒区の坂道ウォーキングは「いいことは道具いらず、場所いらず」とし、簡単に取り組めることをPRしている。東海大宇佐美教授がコメントしているのは非常に良い例。コースは7コース設定している。坂道のデータとして、高さや長さについて掲載しているが、それにカロリーが付けばいいと思う。歴史や坂道のいわれなど魅力づくりにも関係してくるのではないかな。

目黒区の坂道は33で、宮前区は名前がついている坂道が38ある。大きな坂道で名前がついてないのは、市役所、土橋から鷺沼にぬける坂にも名前はついていない。もっと広く取り上げることはできる。以前のマップでも坂道が取り上げられているので、そういったものが土台になるのではないかな。

**佐藤** オリジナルのマップをつくってきた。坂の名前があるところに赤のシールを、公園体操をやっているところに青のシール、直売所があるところ（佐藤さんが知っている範囲）に緑のシールを貼ってみた。また、宮前区ガイドブックに載っているコースを色を変えて落してみた。ちょうど昔生にコースがなかった。

**手塚** 目黒は7コース設定されているが、この部会で新しくコースをつくるのか。

**佐藤** それをこれからどうするか決めていくことになる。イメージ的にはいろんなマップがあり、宮前区ガイドブックには10コースもある。

**区** 地域振興課では宮前ガイドブックに掲載されているコースをA4に拡大印刷し、駅で配布しているようだ。売れゆきがいいときもあるし、そうでないときもある。

**佐藤** 新しくマップをつくるにしても、これだけ既存のマップがあるので、ただ地図をつくるというだけではよろしくない。マップをつくるのであれば、イベントと連動するものでないといけないと思う。区民会議から提案するものとして、他の取り組みとの連動するものが必要と考えている。

**藤田** 宮前区ガイドブックにお散歩コースが紹介されているが、水と緑など適当なテーマが書いてあるが、なんとなくはっきりとしたテーマがない。目黒区のマップが売れているのは坂道をテーマにして、7つのコースを全て歩いたときに33の坂道全て回れるというテーマ性があるからだと思う。坂道をメインテーマにするということであれば、坂道を巡るものでなければ、新しいマップをつくる意味がない。それを坂道マラソンなどのイベントやマップを利用した普段の活動につなげなければいけない。

ところで、11月中旬に向ヶ丘・宮前ディスカバーウォークはどこが主催し、何をやっているのか（参考資料2参照）。

**区** 地域振興課が担当しており、青少年指導員会がやっている。どこか目的地を決めているところから出発して、歩きながらまちを発見しようというものである。

**豊島** 各地区の青少年指導員会があり、持ち回りで目的地を決めている。

### 第3期宮前区区民会議 第4回 活力づくり部会 摘録

藤田 毎年コースが違うということか。

豊島 毎年担当者が違うので、コースが違う。

藤田 全区的にこのようなイベントがあるのは知らなかった。対象はだれになるのか。

豊島 町内会の回覧板で広報しているが、来る人はほとんど子ども会の関係者になる。子ども会の関係者が協力団体としてやっている。子ども会で子どもは誘えるが、お年寄りあまり来ない。回覧してもやっぱり来ない。

藤田 ウォーキングイベントはその他にも結構やっている。そのあたりをまとめた大きなイベントができるといい。今あるもののひとつになってしまうようなイベントではいけない。

区 もし仮にマップをつくり、注目されたら、マップにあるコースを使ってディスカバーウォークをやって、さらにオプション的にイベントを付加できれば、ディスカバーウォークに来る人も多くなるかもしれない。

藤田 ディスカバーウォークは全区民的ではない。

豊島 子どもが対象になっている。

直本 区民全てを対象にすることはありえないと思う。いろんなことをやって区民全体が関わっていくように考えないと、小学生も対象、高齢者も対象ということで、何かひとつのことをやるということではありえないと思う。坂道について、いろんな取り上げ方をすることで、区民全体がどこかに関わられるようにしたほうがよい。そうしないとぼらぼらになってしまう。

佐藤 藤田さんは全体を通すことでいろんな世代が触れ合えるというイメージだったと思うが、どうか。

藤田 細かい触れ合いはもっと下のレベルでやったほうがよいと思っている。年1回くらいの大きなイベントが象徴として必要だと思う。

佐藤 ディスカバーウォークははじめて何年目になるのか。

豊島 7年目くらいになる。昔、富士見台で運動会をしていたが、それがディスカバーウォークに変わった。

直本 地域の持ち回りなので、毎年同じ地区の同じ人が負担するのではなく、何年かに1回地域が負担する形になっている。

豊島 青少年指導員自体が町会・自治会の推薦になるので、そのような動きになっている。

山下 参加者対象別にプログラムを組むことは必要だろう。マラソンにはフルマラソンやハーフマラソン、10km、5kmもある。まずは基本的なものをつくってから、そういうものを細かく決めていく必要がある。

佐藤 魅力づくりという観点からみて、何かアイディアはあるか。

藤田 坂道写真クイズ・ラリーや坂道ゲームといった中からひとつでも組み入れられるといい。

佐藤 こういうところで商店街の活性化とタイアップできるといい。

藤田 宮前区はこれといった特徴がないから、坂道写真クイズは結構答えるのが難しい。むしろ写真と実際を見て確認しながらやらないとわからない。何の特徴がなくても写真を見ながら、歩いていると重なるところが分かるのは面白い。

佐藤 岡田さんが言っていたが、歩くことが目的でなくてもこういうところに来てもらえ

### 第3期宮前区区民会議 第4回 活力づくり部会 摘録

ばいいのではないかと言っていた。

**藤田** 坂道やウォーキングはテーマを言っているだけで、現実には知って親しんでもらうためには、その人が車で行こうとなんで行こうとそれは結果論である。ただ車で行ってほしいということはいえないと思うので、坂道とウォーキングをセットで出すことになる。

**区** もしバスで行ったとしても、その次いでに何かあれば、そこに寄ってもらうというイメージですね。

**藤田** 坂道クイズということであれば、目黒区のマップに写真が掲載されているが、この写真のこの景色はどこかということを質問にすればいい。

**佐藤** こういうときに写真を区民から募集できるとよいと思う。

**藤田** 坂道の上と下の写真をとったら、坂道制覇という話があったが、それは景品がついた場合のことであって、そんなにこだわる必要はない。景品をつけるということであれば、農商工関係と連携できるとよい。登るのはつらいが、下るのは簡単。

**豊島** 写真が嫌いな人もいるかもしれないから、写真に限らないほうがよい。いくつかある方法のうちのひとつとしていいなという話だと思う。

**田邊** マップについては、坂道と坂道周辺にある資源やイベントなどのいろんな情報が一緒になっているといい。目黒区のマップの場合、どこの坂道になにがあるか、見えるかということが分かる。坂道を登り下りすることでいろんなことを知ることができる。そういうものを委員が探してみてもどうか。人に教えてあげるために必要ではないか。

まちづくり協議会が防災など地道な活動をやっている。区民会議でやったからといって、すぐ効果が現れるのか。区民会議の知名度の問題もあるが、ひとつひとつ積み重ねていく必要があるのではないか。

**佐藤** ただでさえ坂道をウォーキングするのはつらい。つらいだけでは継続するのは難しいので、通年的な取り組みを行い、つらいことだけでなく、楽しいこともあるということ示して、サイクルさせないといけない。

**田邊** 駅から市役所に来るとき、道路右側に公園があり、ベンチが置いてある。年配の人にとって、非常にいい場所である。今はバスが停まるようになったので、利用者が多くなった。そういう情報を提供する必要がある。

名称が付いている坂道以外にも土橋から上にあがっていくところ、たまプラーザに向かう桜並木のところなど坂道はある。いろんな情報を集めようと思ったらいろいろ集まる。それを PR することも必要である。いろんなところに資源があれば、その資源の近くの人が徐々に巡ってくれるようになるのではないか。

**山下** 目黒区のマップは必ずコースの次にいろんな説明を掲載している。マップはこういうつくり方になるのではないか。

**藤田** ほぼ目黒区のマップを参考につくればいいのではないか。

**佐藤** 目黒区はマップを発行した後、区役所でイベントをしたり、通年的な取り組みを行っているのか。

**区** まだ発行したばかりで反響を見ているのではないか。

**佐藤** 盛りだくさんの内容でマップをつくるだけでなく、マップを使って通年的な取り組みやイベントにつなげていかないといけない。

### 第3期宮前区区民会議 第4回 活力づくり部会 摘録

区 マップはつくってただ配布するだけでは厳しいので、仕掛けが必要で、雑誌買うとおまけでDVD が付いてくるように、例えば、浦野さんに頼んで、川崎フロンターレの中村憲剛選手に出してもらってCM をつくるなど、区民が興味を持つような仕掛けが必要かもしれない。川崎フロンターレの選手に坂道を駆け上がってもらったり、委員自らが坂道を駆け上がるなど、デモンストレーションDVD がつくれるといい。

そっくり目黒区のマップを参考にすることも、マップのガイド役を川崎フロンターレのマスコットキャラクター「ふろん太」にするだけで、情報発信力が上がる。

**佐藤** 駅伝の矢澤曜選手（早稲田大学）の起用も考えられる。川崎フロンターレの選手が坂道を走るとこんなものだけど、矢澤選手が走るとこれだけ早いという内容のものもつくれるかもしれない。

**佐藤** 川崎フロンターレと宮前区は提携を結んだのか。

区 フットサル以外に健康づくりや地域づくりについて、フロンタウンさぎぬまと連携協定を結んだ。具体的内容について決まっていない。フロンタウンさぎぬまに協力を求める場合、連携協定が生きてくるかもしれない。

**田邊** フロンタウンまつりは関係あるのか。

区 これ自体は2010年からはじまったフロンタウン独自の祭りである。区も後援し、いろんな形で協力している。直売所を出して、地産地消を促進することが考えられる。

**佐藤** もしイベントをやるなら、地産地消とのタイアップも視野に入れたい。

#### 4) 次回以降の進め方

**佐藤** 第2期では、このようなことをこのような主体にやってもらいたいという提案をただけだった。現在、冒険遊び場検討委員会という区民会議の小型版をつくってやっていて、区民会議だけでも大変になっている。区民会議に参加している方のことを考えても、あまり良い進め方ではなかった。負担が大きいとなり手がいないし、楽しいことではないと足も遠のく。意見はある程度出たと思うので、話を進めたいと思う。こういう風にやりたいということが決まれば、ものすごい速度で具体的な内容が決まっていく。

区 アイディアがある程度出てきたのであれば進めてほしい。基本的な方針を決めてもらい、みなさんが同じ方向を向いていれば、議論をしやすいと思う。

**直本** みなさんの意見を聞いていると、継続的にイベント的にやれること（マラソンやウォーキングラリーなど）、マップを中心として何を盛り込んでいくかということの大きく2つのことが出ていると思う。両方検討するか、片方だけにするかというのは、今後検討し、両方やれそうならやるし、両方やれないのであればどちらかにする。

**コンサル** イベント的にやれることについては、1度大きなイベントをやるということ（マラソンなど）もあるし、継続的に行う日常的な取り組み（定期的なウォーキングラリーなど）もある。イベントの中でも2種類あると考えている。それも検討ポイントである。

**直本** 次回は、例えばイベントをやるとしたらどんなことが考え、その方針が固まったら次はマップについて議論するなどテーマに分けて議論したほうが、意見が出やすいかもしれない。ばらばらに意見を出していてもしょうがない。

区 スケジュールから言うと、マップを先に議論し、その後マップを使って何ができるか

### 第3期宮前区区民会議 第4回 活力づくり部会 摘録

を考えたほうがよい。

**佐藤** 具体の話になると意見が出てくるので、具体的に決めていってもいいのではないかと。フォーラムでも意見をもらえるので、それも検討しながら、次回から仕切り直しということで具体的な案を出していくということよいか。

→マップの作成について具体的な案を出していくということで了承された。

#### 5) 次回までの宿題について

**区** 次回部会でスムーズに話し合いを進めるため、次回までに前もって意見を出しておいたほうがよい。次回部会までに宿題をやってもらえる場合、全体会后に宿題ペーパー（一定の様式を作成）を配布し、2月下旬までに提出してもらおうと思うがよいか。

**藤田** 宿題ペーパーを来週早々に配ってもらえるとよい。全体会前くらいにメールで返信できるくらいでないとスケジュール的に厳しい。10日（木）の全体会のときに各委員から回収した意見をまとめたものを各委員に渡せばよい。

→次回までに各委員が前もってマップの作成について意見を出すこととなった。意見記入用の様式は事務局が作成し、配布する。

#### 4 区民会議フォーラムについて（案）

※ 事務局より資料5を説明。

**豊島** 広報はどのように行うか。

**区** 市政だよりや回覧板で配布する。

**佐藤** 宮前映像コンクールのときにチラシを置かせてもらいたいと考えている。

#### 5 今後の会議スケジュール

※ 第5回活力づくり部会は平成23年3月2日（水）か4日（金）の18時から行う。

※ マップの作成にあたっての視点についてはおおまかに下記のスケジュールで進める。

2月7日（月） アンケート様式配布

↓

2月10日の全体会か14日（月） アンケート回答を提出

↓

2月22日（火）頃 委員意見をまとめた資料を配布

↓

3月初旬 まとめた資料を確認し、各自意見を再度まとめたうえで部会に参加する

（以上）